

## 【法定研修】不適切支援を生まないチームづくり（後編）

### 【別紙】解答・詳しい解説

#### 【法定研修】不適切支援を生まないチームづくり（後編・講義②）

##### 1. 解答：×

###### 解説

記事では、講義②でまず大切にされているのは、不適切ケア・不適切支援を減らすためには、個人の意識だけでも、職場の仕組みだけでも足りないという点だと書かれています。個人の気づきとチームの基準づくりの両方が必要です。

##### 2. 解答：○

###### 解説

記事には、個人でできることとして感情や状態のセルフチェックが挙げられています。「今日はいら立っていないか」「焦った心理状態になっていないか」と振り返ることが、不適切ケア・不適切支援の予兆に気づききっかけになると説明されています。

##### 3. 解答：×

###### 解説

記事では、強い口調になりそうなときは、すぐに言葉を返すのではなく、一呼吸おく習慣が大切だと書かれています。いったん立ち止まり、深呼吸をして少し間をとることで、感情の勢いに任せた反射的な対応を防ぎやすくなると示されています。

##### 4. 解答：○

###### 解説

記事では、高齢者・障がい者ともに利用者の背景を考えることを習慣にすることが重視されています。認知症や障害特性、生活歴、これまでの経験を踏まえてみることで、目の前の行動の意味が違って見えてくることがあると説明されています。

##### 5. 解答：○

###### 解説

講義②の後半では、チームでできる取り組みとして、Good支援の共有、相談できる体制づくり、環境整備、ミニケースレビューなどが挙げられています。これらは個人の頑張りだけに頼らず、不適切支援を防ぐための職場の工夫として紹介されています。

##### 6. 解答：基準

###### 解説

記事では、不適切ケア・不適切支援を防ぐには、個人の取り組みだけでなく、チームで支援の基準を共有することが大切だと書かれています。したがって空欄には「基準」が入ります。

## 【法定研修】 不適切支援を生まないチームづくり（後編）

### 7. 解答：大切

#### 解説

記事本文には、自分の心理状態に気づくことは、利用者理解と同じくらい大切だと書かれています。したがって空欄には「大切」が入ります。

### 8. 解答：間

#### 解説

記事では、一呼吸おく習慣の説明として、いったん立ち止まり、深呼吸をして、少し間をとることが示されています。したがって空欄には「間」が入ります。

### 9. 解答：知恵

#### 解説

記事には、「今日の Good 支援」を共有することによって、単なる個人の工夫を、チームの知恵に変えていくと書かれています。したがって空欄には「知恵」が入ります。

### 10. 解答：環境

#### 解説

記事の講義②後半では、作業動線、音や光などの刺激、集中しやすい場所の確保といったものが環境整備として示されています。したがって空欄には「環境」が入ります。